

ジャンケンに勝った子どもは、見たり触ったりしてどの落ち葉を拾うか考えます。集めた落ち葉は、子どもが多様な自然の中から選んだものであり、子どもの自然への「視点」といえます。自らの「視点」にもとづき工夫して話し合うことで自然への理解が深まっていきます。